

2008年4月23日

外務大臣 高村 正彦 殿

東京都文京区本郷7 3 1
東京大学法学部研究室内
社団法人 国際法協会日本支部
会長 小田滋

事業年度終了に伴う報告書

当協会の2007年度終了に伴い、以下の通りご報告申し上げます。

1. 総会・理事会

総会

日時：2007年4月21日13時45分 14時15分

場所：東京大学 山上会館

議題：

- (1) 2006年度事業報告および同年度決算案の件
- (2) 2007年度事業計画および同年度予算案の件

議事の経過：

上記議題(1)及び(2)につき、担当主任からの説明があり、いずれも全員一致でこれを決定・了承した。詳細については、別紙A参照。

同総会議事録は、別紙E参照。

前期理事会

日時：2007年4月21日12時10分ー13時30分

場所：東京大学 山上会館

議題：

- (1) 新入会員承認の件
- (2) 2006年度事業報告および同年度決算案の件
- (3) 2007年度事業計画および同年度予算案の件

議事の経過：

上記議題(1)につき、別紙Bの通り12名の入会が承認された。

上記議題(2)及び(3)につき担当主任からの説明があり、いずれも全員一致でこれを了承した。詳細については、別紙A参照。

同理事会議事録は、別紙F参照。

後期理事会

日時：2007年10月29日18時30分 20時30分

場所：東京 学士会館（神田）

議題：

（１）新入会員承認の件

議事の経過：

上記議題（１）につき、別紙Ｃの通り４名の入会が承認された。

同理事会議事録は、別紙Ｇ参照。

２．研究活動

国内大会

日時： 2007年4月21日 11時－17時50分

場所： 東京大学 山上会館

統一テーマ：「国際裁判における手続法問題」

午前の部 座長：広部和也・成蹊大学教授

報告「国際刑事裁判の構造と機能——ICCと国連の協力関係」 藤田久一・関西大学教授

午後の部（１）座長：杉原高嶺・近畿大学教授

報告「国際刑事裁判所と証拠法」 多谷千香子・法政大学教授

「国際刑事裁判における手続法問題——刑事法から見た」 高山佳奈子・京都大学教授

午後の部（２）座長：古川照美・福岡女学院大学学長

「国際司法裁判所の仮保全措置の機能について」 酒井啓巨・京都大学教授

「国際訴訟・国際仲裁と民事保全」 中野俊一郎・神戸大学教授

国際委員会への委員の派遣

３．出版事業

英文国際法年報(The Japanese Annual of International Law)第50号の出版

４．決算

2008年4月19日の総会において全員一致で承認された。

詳細については別紙D参照。

別紙 B

氏名	所属・地位	推薦者
James Hartley	ニュージーランド大使館二等書記官	岩沢雄司 中谷和弘
多谷千香子	法政大学教授	奥脇直也 中谷和弘
伊藤一頼	静岡県立大学講師	奥脇直也 中谷和弘
水島朋則	名古屋大学准教授	奥脇直也 中谷和弘
多田健象	帝京平成大学准教授	道垣内正人 中谷和弘
玉田大	岡山大学准教授	奥脇直也 中谷和弘
佐藤義明	広島市立大学専任講師	奥脇直也 中谷和弘
深町朋子	福岡国際大学講師	奥脇直也 中谷和弘
吉澤裕	日本政策投資銀行設備投資研究所上席研究員	奥脇直也 中谷和弘
西元宏治	専修大学講師	奥脇直也 中谷和弘
宮崎孝	名古屋経済大学教授	三好正弘 中谷和弘
フィリップ・オステン	慶應義塾大学准教授	小寺彰 安富潔

別紙 C

氏名	所属・地位	推薦者
林美香	神戸大学准教授	奥脇直也 坂元茂樹
豊田哲也	国際教養大学専任講師	奥脇直也 中谷和弘
黄韜霆	帝塚山大学准教授	松岡博 野村美明
黒澤満	大阪大学教授	岩沢雄司 中谷和弘